



## 2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月4日

上場会社名 システム・ロケーション株式会社  
 コード番号 2480 URL <https://www.slc.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 千村 岳彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部管掌 (氏名) 井坂 俊達

TEL 03-6452-2864

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	837	32.5	272	4.1	299	18.4	179	18.1
2022年3月期第2四半期	632	15.1	261	11.5	252	0.8	219	28.6

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 89百万円 ( 56.5%) 2022年3月期第2四半期 205百万円 ( 3.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	50.85	
2022年3月期第2四半期	62.13	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	3,707	2,964	79.8	838.62
2022年3月期	3,600	3,051	84.6	863.30

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 2,958百万円 2022年3月期 3,045百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		50.00	50.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				38.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,900	45.9	700	26.5	710	27.9	440	4.2	124.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1 社 (社名) Inspiration株式会社、除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	3,570,000 株	2022年3月期	3,570,000 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	41,783 株	2022年3月期	41,783 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	3,528,217 株	2022年3月期2Q	3,528,251 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想に内在する様々な不確定要因や、今後の事業運営における内外の状況の変化により、実績はこれらの業績予想と大きく異なる可能性がありますので、ご承知おき下さい。上記業績予想に関する事項は、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	9
(企業結合等関係) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年4月1日～9月30日、以下「当期」)における当社関連市場である国内自動車市場は、引き続き半導体需給ひっ迫の影響を大きく受けながらも、前年同期に特に東南アジアでの新型コロナウイルス感染拡大による部品供給不足の影響を受けていた反動もあり、第1四半期に比して改善の傾向が見られました。新車販売台数(乗用車)は前年同期比8.4%減と前年割れが継続しながらも、9月単月が前年同月比24.7%増となったこともあり、第1四半期の15.9%減の状態から回復の兆しが見えてきました。しかしながら、所謂“コロナ禍”前の2019年の同期販売台数と比較した場合、新車販売台数は28.5%減の水準に留まっており、本年9月の販売台数も2019年9月の30%減の水準となります。中古車登録台数(乗用車)は同5.0%減となり、引き続き流通台数の減少及び単価上昇の激しい市場状態が継続しています。

このような社会環境の中、当社グループにおいては、前期に引き続き自動車販売事業者様、自動車関連金融事業者様など、お客様における業務のDX化の一助となるべく、大規模法人向けSaaS提供企業として新機能追加や新商品開発の推進に取り組みました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、837,330千円(前年同期比32.5%増)となりました。売上高のほとんどがリカーリングの性質によるものであり、ストック型売上として比較的安定して推移するものですが、厳しい市場環境のなかで想定した水準は達成できませんでした。営業利益は272,223千円(前年同期比4.1%増)となりました。当期首にInspiration株式会社(以下「Insp社」)を子会社化したことに伴いM&A費用が嵩み、またInsp社の企業結合会計につき償却期間の短い識別可能資産等への取得原価の配分があったため当該償却負担も大きく、販売費及び一般管理費が増大することとなりました。経常利益は299,353千円(前年同期比18.4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は179,427千円(前年同期比18.1%減)となりました。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大による当四半期の業績への大きな影響はありません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,651,364千円となり、前連結会計年度末に比べ515,406千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が551,462千円減少したことによるものであります。固定資産は2,055,793千円となり、前連結会計年度末に比べ621,847千円増加いたしました。これは主に顧客関連資産が525,000千円増加及びのれんが136,725千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、3,707,157千円となり、前連結会計年度末に比べ106,441千円増加いたしました。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は224,960千円となり、前連結会計年度末に比べ35,954千円増加いたしました。これは主に未払法人税等が34,829千円増加したことによるものであります。固定負債は517,983千円となり、前連結会計年度末に比べ157,494千円増加いたしました。これは主に繰延税金負債が138,321千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、742,943千円となり、前連結会計年度末に比べ193,449千円増加いたしました。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は2,964,214千円となり、前連結会計年度末に比べ87,008千円減少いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金が93,157千円減少及び、親会社株主に帰属する四半期純利益179,427千円を計上したものの、剰余金の配当が176,410千円発生したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は79.8%(前連結会計年度末は84.6%)となりました。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、税金等調整前四半期純利益の計上、減価償却費の計上及び、投資有価証券の取得による支出等により、当第2四半期連結会計期間末には、1,426,370千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は277,685千円の収入(前年同期比86.4%増)となりました。

主なプラス要因は、税金等調整前四半期純利益の計上284,608千円、顧客関連資産償却額の計上39,000千円、のれん償却額の計上10,996千円及び減価償却費の計上39,872千円であります。主なマイナス要因は、法人税等の支払96,651千円であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は651,604千円の支出(前年同期比181.8%増)となりました。

主なマイナス要因は、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出581,810千円であります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は176,188千円の支出（前年同期比61.6%増）となりました。  
これは、主に配当金の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期におきましては、2022年5月6日付「2022年3月期決算短信」に記載いたしました当期（2022年4月1日～2023年3月31日）の業績予想は変更しておりません。今後、業績予想数値に修正が生じる場合は速やかに公表致します。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,977,833	1,426,370
売掛金	166,747	203,701
棚卸資産	828	473
その他	21,360	20,817
流動資産合計	2,166,770	1,651,364
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	168,687	202,307
減価償却累計額	△62,289	△69,509
建物及び構築物(純額)	106,398	132,797
船舶	60,000	60,545
減価償却累計額	△59,999	△60,272
船舶(純額)	0	272
車両運搬具	9,849	9,849
減価償却累計額	△5,114	△5,903
車両運搬具(純額)	4,734	3,946
工具、器具及び備品	156,468	164,381
減価償却累計額	△126,989	△139,042
工具、器具及び備品(純額)	29,478	25,339
土地	129,691	167,756
その他	1,000	—
有形固定資産合計	271,303	330,112
無形固定資産		
のれん	3,704	140,430
顧客関連資産	—	525,000
その他	262,608	281,190
無形固定資産合計	266,313	946,621
投資その他の資産		
投資有価証券	653,278	530,775
保険積立金	226,971	230,595
その他	25,386	26,995
貸倒引当金	△9,307	△9,307
投資その他の資産合計	896,329	779,059
固定資産合計	1,433,945	2,055,793
資産合計	3,600,716	3,707,157

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	14,204	19,183
未払法人税等	88,560	123,389
賞与引当金	26,823	18,316
その他	59,415	64,071
流動負債合計	189,005	224,960
固定負債		
役員退職慰労引当金	230,458	245,941
退職給付に係る負債	58,850	62,541
繰延税金負債	71,179	209,500
固定負債合計	360,488	517,983
負債合計	549,493	742,943
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	191,445	191,445
資本剰余金	191,230	191,230
利益剰余金	2,467,608	2,470,624
自己株式	△18,659	△18,659
株主資本合計	2,831,623	2,834,640
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	213,239	120,081
為替換算調整勘定	1,049	4,123
その他の包括利益累計額合計	214,288	124,205
非支配株主持分	5,309	5,368
純資産合計	3,051,222	2,964,214
負債純資産合計	3,600,716	3,707,157

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	632,014	837,330
売上原価	87,161	141,066
売上総利益	544,853	696,263
販売費及び一般管理費	283,262	424,040
営業利益	261,591	272,223
営業外収益		
受取利息	285	174
受取配当金	5,014	22,668
持分法による投資利益	2,045	591
その他	679	3,695
営業外収益合計	8,024	27,130
営業外費用		
為替差損	6,752	—
貸倒引当金繰入額	9,307	—
その他	699	—
営業外費用合計	16,760	—
経常利益	252,856	299,353
特別利益		
投資有価証券売却益	79	—
子会社株式売却益	54,758	—
特別利益合計	54,837	—
特別損失		
固定資産除却損	—	12
投資有価証券評価損	—	1,450
役員退職慰労金	—	13,281
特別損失合計	—	14,744
税金等調整前四半期純利益	307,693	284,608
法人税、住民税及び事業税	81,938	111,510
法人税等調整額	8,581	△5,956
法人税等合計	90,520	105,553
四半期純利益	217,173	179,055
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,021	△372
親会社株主に帰属する四半期純利益	219,195	179,427



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	217,173	179,055
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,772	△93,157
為替換算調整勘定	2,173	3,505
その他の包括利益合計	△11,599	△89,651
四半期包括利益	205,574	89,403
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	207,266	89,343
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,691	59

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	307,693	284,608
減価償却費	46,830	39,872
のれん償却額	—	10,996
顧客関連資産償却額	—	39,000
引当金の増減額 (△は減少)	2,849	△21,167
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△9,503	3,691
役員退職慰労金	—	13,281
受取利息及び受取配当金	△5,300	△22,843
持分法による投資損益 (△は益)	△2,045	△591
売上債権の増減額 (△は増加)	△11,861	△2,113
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,650	△863
子会社株式売却損益 (△は益)	△54,758	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	1,450
その他	4,802	28,193
小計	281,358	373,515
利息及び配当金の受取額	5,520	14,103
役員退職慰労金の支払額	—	△13,281
法人税等の支払額	△137,886	△96,651
営業活動によるキャッシュ・フロー	148,992	277,685
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4,057	△8,270
無形固定資産の取得による支出	△41,568	△53,939
投資有価証券の取得による支出	△145,952	△3,880
保険積立金の積立による支出	△3,624	△3,624
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△31,396	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△581,810
その他	△4,607	△80
投資活動によるキャッシュ・フロー	△231,205	△651,604
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△108,866	△176,188
自己株式の取得による支出	△135	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△109,002	△176,188
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,165	△1,355
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△189,049	△551,462
現金及び現金同等物の期首残高	1,987,835	1,977,833
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,798,785	1,426,370

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、Inspiration株式会社の全株式を取得したため、連結の範囲に含めておりません。

(企業結合等関係)  
取得による企業結合

1 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及び事業の概要内容

被取得企業の名称   Inspiration株式会社  
事業の内容           自動車販売店向けソリューション事業

(2) 企業結合を行った主な理由

当社グループは「自動車関連事業者向け業務支援」を国内外において展開する企業グループです。当社が掲げる社は「Co-Creation」のもと、当社が強みとする自動車にまつわる各種データベースや自動車の価値算出ノウハウなどの基礎技術をオートリース、自動車ファイナンス、新車販売店メーカーなど、業界毎のご要望にお応えし、カスタマイズやシステム商品開発を行っております。

Inspiration社(以下「Insp社」)は、主に自動車ディストリビューター向けシステム開発や、自動車販売店向けソリューション事業を展開している会社であり、特に輸入車インポーターや輸入車新車販売店におけるソリューションを得意分野として事業展開し、当社が有しない分野での豊富な実績を有しております。

「100年に一度と言われる自動車業界の大変革の時代」と言われるなか、当社グループが今後さらなる事業発展を遂げるためには、現商品の拡充、顧客幅の拡大、新商品の開発が不可欠であると考えております。当社グループとInsp社は、広義では同じ業界に属しているものの、事業領域や顧客領域、また商品特性は、それぞれ個別に独立していることから、2社がそれぞれに有するネットワークやノウハウを組み合わせることで、これまで以上に幅広い事業領域、顧客領域での展開、また新商品の開発を行うことが可能となります。その結果、今後の当社グループの企業価値向上に寄与していくものとの考えから、同社の株式取得を決定いたしました。

(3) 企業結合日

2022年4月15日(みなし取得日2022年4月1日)

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 取得した議決権比率

100%

(6) 取得企業を決定するに至った主な経緯

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものです。

2 連結財務諸表に含まれている被取得企業の業績の期間

2022年4月1日から2022年9月30日

3 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内容

取得の対価	現金	821,600千円
	アドバイザー費用他	24,032千円
	合計	845,632千円

4 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれんの金額

147,722千円

のれんは、第1四半期連結会計期間において取得原価の配分が完了しておらず、暫定的に計算された金額でありましたが、当第2四半期連結会計期間に確定しております。なお、のれんは金額に修正は生じておりません。

(2) 発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力から発生したものです。

(3) 償却方法及び償却期間

7年間にわたる均等償却

5 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	298,662千円
固定資産	72,423千円
資産合計	371,085千円
流動負債	50,977千円
固定負債	15,142千円
負債合計	66,120千円

6 のれん以外の無形固定資産に配分された金額及びその内訳並びに償却期間

①無形固定資産に配分された金額及び主要な内訳

顧客関連資産（顧客関係）	550,000千円
顧客関連資産（受注残）	14,000千円

②償却期間

顧客関連資産（顧客関係）	11年
顧客関連資産（受注残）	3ヶ月